



2026. 8月

ほけんだより No.4

犬山市子ども未来園

こどもの生きる力を育てよう

非認知能力

近年注目されている「非認知能力」とは、IQテスト（認知能力）では測れない心の力で、生きる力の基礎になるものです。生まれつきではなく、教育や遊び、毎日の生活を通して身に付く力です。

特に、幼児期に育むことが、その後の人生に大きな影響を与えると研究で示されています。

やりぬく力	他者と関わる力	気持ちをコントロールする力
忍耐力 自己抑制 目標への情熱	社交性 敬意 思いやり	自尊心 楽観性 自信

愛着（アタッチメント）

こどもの育ちに必要な「愛着（アタッチメント）」とは、こどもが怖くて不安なときなどに身近なおとな（養育者）がその気持ちを受け止め、こどもの心身に寄り添うことで安心感を与える経験の繰り返しを通して獲得される安心の土台のことです。

その土台の上にこどもの心・知性・社会性が育まれていきます。
また、安定した「愛着」は、非認知能力の育ちにも影響を与える重要な要素となり、生きる力につながっていくとされています。

愛着ってどうしたら育つの？



特別なことは必要ありません。

例えば

- ・抱っこや手をつなぐなどのスキンシップ
- ・うれしい、楽しいなど気持ちの共有
- ・泣いているときには優しく包み込み、怒っているときにはその気持ちを和ませる
- ・いっしょに歌をうたう、膝の上で絵本を読む

など、日々のスキンシップやありのままを受け入れること。

愛着を育てる力ギは親子の何気ない「ふれあい」の中にたくさんつまっています。



<参考文献>

「就学前のこどもの育ちに係る基本的な指針」 内閣官房・幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン こども家庭庁
(はじめの100か月の育ちビジョン)

気をつけよう！水筒の持ち方

熱中症が気になる季節です。水分補給のため、水筒を持って移動する場面も多いのではないのでしょうか。

消費者庁や日本小児学会から

「水筒を首や肩から掛けて持ち歩いている時に転倒し、水筒が原因となるケガが発生している」との注意喚起がされている為、お知らせします。

水筒を首や肩からかけていると どんな危険があるの？



- ・子どもは大人と比べると筋肉や骨、皮下脂肪が未発達なため、外からの衝撃が内臓に伝わりやすいという特徴があります。転んだ時に、腹部と地面の間に水筒が挟まれる形になりやすく、重大なケガにつながる恐れがあります。
- ・水筒のひもが首や腕に絡まったり、遊具等に引っかかったりすることもあります。

水筒を持ち歩くときのポイント

- ・水筒はなるべくリュックサック等に入れましょう
- ・水筒を首や肩に掛けているときに走らないようにしましょう
- ・遊具等で遊ぶ場合は、水筒を置いて遊ぶようにしましょう

「えっ」水筒で…と思うかもしれませんが、時に大きなケガの原因となってしまうこともあるようです。

水筒を持っている時の階段の登り下りや、遊具で遊ぶときには「水筒じゃまじゃない？」と声をかけたり、水筒を大人が受け取るなど、当たり前のことかもしれませんが、大人が危険を予測し見守ることも大切な予防策になります。



<出典> 消費者庁 みんなの消費安全ナビ from 消費者庁「Vol.635 水筒を持ち歩くときの転倒に注意！」

楽田西子ども未来園では、『病後児保育』を実施しています。病後児保育とは、専用スペースにて病気の回復期にあるお子様を一時的にお預かりする保育の事です。

「病後児保育について」・「お子様の健康について」等相談があれば、お気軽に下記までご連絡ください。

【連絡先】楽田西子ども未来園 ☎0568-67-2761（月曜日～金曜日 9:00～16:00）

総合犬山中央病院では『病児保育』を実施しています。

【連絡先】総合犬山中央病院 ☎080-7036-1328（月曜日～金曜日 9:00～16:00）